令和 5 年度 舞鶴工業高等専門学校外部評価委員会

本校の外部評価委員会は、令和 4 年度より実施方法を改め、本校の自己点検を外部有識者に評価していただくことを目的として実施している。

本校の自己点検は認証評価の基準に合わせて実施しており、自己点検の基準 1～10 を外部評価の観点①～⑥として、次のように整理している。

外部評価の観点	自己点検における対応する基準	担当部署	外部評価実施年度	評価
① 3つのポリシー、教育学アセスメント	1 教育の内部質保証システム	評価委員会 教務委員会 専攻科委員会		
② 学習環境及び学生支援、修学支援、学寮運営	2 教育組織及び教員・教育支援者等について 3 学習環境及び学生支援の整備等について	学生委員会 学寮委員会 教務委員会	R5	
③ 教育活動の状況	5 準学士課程の教育課程・教育方法について 7 準学士課程の学習・教育の成果について	教務委員会		
④ 入試の状況	6 準学士課程及び専攻科課程の学生の受入れについて	入試委員会	R4	
⑤ 専攻科の教育・研究活動の状況	8 専攻科課程の教育活動の状況について 9 研究活動の状況について	専攻科委員会		
⑥ 地域貢献活動等の状況について	10 地域貢献活動等の状況について	地域共同テクノセンター	R4	
	(4 財務基盤及び管理運営について)			

毎年、外部評価の観点から選択して外部評価を実施し、数年ですべての観点の評価を実施する計画となっている。

令和 5 年度の外部評価委員会は以下のように対面で実施した。

1. 日 時 : 令和 5 年 11 月 24 日 (金) 10:00-16:20

2. 場 所 : 舞鶴工業高等専門学校 大会議室

3. 出席者 : 外部評価委員会委員 (敬称略)

長岡技術科学大学	学長	鎌土 重晴
和歌山工業高等専門学校	校長	井上 示恩
株式会社日進製作所	人事部長	室田 真司
舞鶴市中学校長会	会長	福本 浩介
舞鶴市政策推進部	部長	有吉 央頭

(企画政策課主幹 亀井亮介氏代理出席)

京都新聞社舞鶴支局	支局長	高橋 晴久
舞鶴工業高等専門学校後援会	会長	藤田 美有紀

学内出席者

林校長、奥村評価委員長、加登教務主事、山田学生主事、児玉寮務主事、内海専攻科長、片山総務担当副校長、藤田人文科学部門長、上杉自然科学部門長、篠原機械工学科長、竹澤電気情報工学科長、伊藤電子制御工学科長、尾上建設システム工学科長、宝利教学 I R 室長、玉田地域共同テクノセンター長、山崎教員、寒川事務部長、増永総務課長、下元学生課長

4. 校長冒頭挨拶

議事に先立ち、林校長から挨拶があった。

5. 委員の紹介

奥村評価委員長から、外部評価委員の紹介及び議題の説明があった。

6. 委員長選出

本校外部評価委員会規程第5条に基づき、委員の互選により鎌土委員が委員長に選出された。

7. 議事

- (1) 高専の概要と舞鶴高専について [発表者 校長 林 康裕]
- (2) 検討課題の状況及び舞鶴高専の自己点検について [発表者 評価委員会委員長 奥村昌司]
- (3) 観点「②学習環境及び学生支援, 修学支援, 学寮運営」について
[発表者 教務主事 加登文学, 学生主事 山田耕一郎, 寮務主事 児玉圭司]

発表と質疑応答ののちに、次のような評価シートによって、「②学習環境及び学生支援, 修学支援, 学寮運営」について、外部有識者に評価いただいた。

令和5年度 舞鶴工業高等専門学校外部評価委員会 評価シート

評価者名： _____

評価の観点	評価項目	評点	コメント
② 学習環境及び学生支援、 修学支援、学寮運営	1. 学校の目的に照らした、必要な教員・教育支援者の配置がなされているか		
	2. FD活動が適切に実施されているか		
	3. 教育設備が適切に整備されているか		
	4. 学生支援体制が整備され、機能しているか		
	5. 学生寮の管理・運営は適切か		

【評点】

- 4：十分に実施されている。
- 3：実施されている。
- 2：実施がやや不十分である。
- 1：実施が不十分であり、改善が望まれる。

自由記述欄（ご意見やお気づきのことがありましたらご記入ください。）

(次ページ, 評価のまとめ)

評価のまとめ

評価の観点	評価項目	評点		コメント
②学習環境 及び学生支 援、修学支 援、学寮運 営	1. 学校の目的に照らした、必要 な教員・教育支援者の配置がな されているか	委員 A	4	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・創造的技術者の育成を目指し、深く専門の学芸を教授し、技術者として必要な能力を育成するため、各学科で必要とされる科目を教授可能な教員、教育支援者としての事務職員および技術職員を十分配置している。さらに、若手教員は全教員の約30%と活気ある体制も整っている。 ・少数で適切に人員が配置されていると思います。今後は一朝一夕にはいかないでしょうが、女性教員の確保をお願いします。 ・非常勤含めれば授業は問題ないとのことだが、特に女性活躍推進の面も含め、採用を進めていただきたい。 ・教員不足についてはどこも共通することがわかりました。 ・各カリキュラムごとに十分な指導教員が充てられている。 ・教員確保に関しては個別の学校だけでなく機構や国が先頭に立って方策を取るべき。 ・教員の必要数確保の改善。
		委員 B	3	
		委員 C	2	
		委員 D	4	
		委員 E	4	
		委員 F	2	
		委員 G	3	
		総点	22	
	2. FD 活動が適切に実施されて いるか	委員 A	4	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの分析およびそれらの全教員への公開により各教員とも緊張感を保ちつつ講義に臨む態勢が図られている。更に教員による授業参観、教員間の教育討議、学内外の評価者および学生への授業公開、更には有識者からのFD講演会を通じ、講義内容・手法の改善が常に図られている。 ・大変効果的なFD活動を実施されていると思います。これからも多角的な取組みを継続してください。 ・十分実施されていると判断します。フィードバック・刈取りを十分行ってください。 ・アンケート等は大学でも採用されていますが、参観や講演会等丁寧に行われています。 ・効果がわかりにくいですが様々な取組みをもってご尽力されている。 ・教員間、教員と学生間のやり取りがしっかりされている。
		委員 B	4	
		委員 C	4	
		委員 D	4	
		委員 E	4	
		委員 F	4	
		委員 G	4	
		総点	28	
	3. 教育設備が適切に整備されて いるか	委員 A	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門に必要な設備、ラーニングコモンズを始めとした自学できるスペースは確保されている。今後、情報科学センター満足度のアップとスタートアップ事業にて導入された新たな機器・設備の有効活用による学生のモチベーションアップを図って頂きたい。 ・予算の制約がありますが、これからも適切な整備を期待します。 ・私の知見では判断しかねますが対応されていると感じました。 ・問題ありません。予算確保に努めていらっしゃる様子がよくわかりました。 ・予算に制限がある中で、できる整備は実施されている。 ・改修などが計画通り進まれることを望みます。 ・整備されながらの状況ですが満足できるように思います。
		委員 B	3	
		委員 C	3	
		委員 D	4	
		委員 E	3	
		委員 F	3	
		委員 G	3	
		総点	22	

4. 学生支援体制が整備され、機能しているか	委員 A	4	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金に関する情報提供、学生相談室・就学支援室・いじめ対策委員会が適切に連携した学生支援体制が組織され、その機能は発揮されている。加えて、きめ細かい下宿学生訪問や各種高専イベントも含めた課外活動の支援が実施され、かつ進路指導體制も整備されている。 ・学生等ステークホルダーの評価も高く、効果的に支援体制が機能していると思います。 ・メンタル問題が増えていると思いますが臨床心理士を2名配置され対応できている。 ・具体的な説明でよくわかりました。 ・必要十分な体制と思われる。 ・十分に機能していると感じる。
	委員 B	4	
	委員 C	3	
	委員 D	4	
	委員 E	4	
	委員 F	4	
	委員 G	4	
	総点	27	
5. 学生寮の管理・運営は適切か	委員 A	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生寮を整備し、かつ教員、職員等を適正に配置することによって、学生生活の場として、更には勉学としての場としても十分に機能している。学生にとっては快適な生活を送っていると推測している。 ・最大級の学生寮は、人格的教育の場でするので、引き続き学生のためとなる運営をお願いします。 ・今、学生が満足するものかどうか分からないが、課題に対し計画的に取り組んでいる。 ・担当教員の配置や設備改善等適切に行われています。 ・全国最大規模とのことでコントロールは難しいが、多くの学生が共同生活される中、感染症対策には十分留意いただきたい。 ・管理体制など改善され、できる限り希望者が入寮できるよう期待します。寮において学ぶ事は他校では学べない貴重な経験だと思います。
	委員 B	4	
	委員 C	4	
	委員 D	4	
	委員 E	3	
	委員 F	4	
	委員 G	3	
	総点	26	

<自由記述>

・教職員の高専愛に依存するところも大きいと思うが、教職員の負担増はかなり大きいものと感じている。長期的な観点から、研究や趣味等に費やす時間確保のためにデジタルを活用した効率化についても今後検討しては如何でしょうか。

・学生と一般市民や企業の方との交流の場を高専の中だけではなく、市内での展開も容易にする交通手段を、市役所と一緒に検討されては如何でしょうか。東舞鶴駅南側にはキックボードが5台ありました。東舞鶴駅、西舞鶴駅、赤レンガの三か所に設置されていました。高専にも設置してもらって、低学年でもバスだけではなく、それを使って、市内に行けるようにすることも考えられます。

・学生の確保など人口減少等のため困難な課題もあるかと思いますが、最大の学生寮を保有する我が国有数の高専として益々ご発展され、地域にそして全国に貢献いただくよう心から期待いたします。スタートアップ事業もその進展を願います。

・舞鶴高専が益々発展し、社会にとって必要な技術者を今以上に輩出していただくよう、教職員皆様のお力を活かしていただきたいと思います。

・FDに係る内容等本校でも共有させていただきます。

・学生寮の管理運営に関しては大変な労力に頭が下がる。運営も安定的になされていると感じるが、若者には様々な誘惑があるので気を付けてあげてほしい。